

年 組 名前:

問1

富士吉田市の北口本宮富士浅間神社が、

防火設備の強化を進めています。

26日は、どのような試験を行いましたか。

問2

同神社の本殿や東宮本殿などは、国から

どのような指定を受けていますか。

問3

総事業費は約3億8千万円です。

国からの補助金は、何円ですか。

約.....円

問4

今回の事業では、どのような設備を

新設や増設をしますか。

神社内の重要文化財に水を放つ自動首振放水銃
|| 富士吉田・北口本宮富士浅間神社



自動放水銃で防火強化

北口本宮富士浅間神社で試験

富士吉田市上吉田の北口本宮富士浅間神社が、防火設備の強化を進めている。来年度以降に始まる大規模修理工事を前に、国の補助事業を活用し対応。26日は、新たに設置した自動首振放水銃を試験放水し、神社や施工業者らが動作を確認した。

同神社には、本殿や東宮本殿、西宮本殿、社務所など11棟の重要文化財(重文)がある。市歴史文化課によると、総事業費は約3億8千万円で、国が8割、県が1割負担。残りの1割を市と神社で持つ。

自動首振放水銃20台や簡単に操作できる消火栓11台を新調するほか、各建物内に自動放水銃と連動した熱感知器や煙感知器を備える。貯水槽も75リットルから250リットルに増設する。工事を請け負う能美防災



る。来年度以降、損傷のみられる重文の大規模修理工事を始める予定で、先立って22年度から3カ年で防火設備を強化している。

26日は文化庁職員などの視察の下、放水試験を行い、施工業者の合図で建物に向けて一斉に水が放たれた。試験を確認した上文司厚宮司は「想像以上に迫力があって頼もしい。11棟の重文全てを次代につないでいきたい」と話していた。

《赤池悠》

(2024年9月27日付 山梨日日新聞 21面)